

諏訪市下水道事業におけるウォーターPPP導入検討における説明会【質疑応答まとめ】

No	質問	回答
1	入札・公募はいつ頃ですか？	令和8年度末に条件等を提示予定です。交付金の要件に合致するように進めます。
2	諏訪市の処理区は2つ(豊田・特環)ですか？	処理区としては、1処理区のみです。特環(霧ヶ峰)は平成27年度に公共下水道へ編入しています。
3	マンホールポンプの点検調査は行っていますか？	市内32箇所のうち数カ所を月に1度定期点検しています。他は異常時などその都度対応しています。今後マンホールポンプは計画的に改築予定です。
4	圧送管の点検や調査は行われていますか？	マンホールポンプからの圧送管について、点検や調査はまだ実施されていません。
5	契約期間10年における物価・業務単価上昇の対応はしますか？	契約単価の考え方は今後検討します。人件費・材料費上昇を踏まえ、年度ごとの実施計画やスライド条項を盛り込むことについて来年度以降検討していく予定です。
6	「一般廃棄物収集運搬」はどのようなものを想定していますか？	具体的な内容として定めていません。重要なのは産廃の運搬であると認識しています。今後細部を決めてゆく予定です。
7	今後10年の中で管路工事(耐震など)は含まれない理解でよいですか？	諏訪市では現状「更新支援型」を想定しているため、ウォーターPPPに管路工事を含む予定はありません。但し、第2期に向けては職員の体制などを踏まえ、管路工事を含めることも検討していきたいと考えています。
8	新しい点検方法や機械の導入は可能ですか？	性能発注のため手法は固定しません。新技術提案でコスト低減ができるのであれば、ウォーターPPPの要件の一つであるプロフィットシェアの仕組みに合致したものであると考えます。
9	管路中心ならば性能発注を最初から行いますか？	性能発注が原則ですが管路は難しい部分があると認識しています。また、移行措置として段階的に性能発注とすることも可能となっていますので、今後検討していきます。
10	公募の段階では修繕量が明確ではない状態が想定されますが、業務期間内での変更契約は想定しますか？	現段階では単価や契約量が定まっている状態ではないため、今後検討して提示できるようならお示していきます。また、契約期間中に業務量が変化した場合の対応については来年度以降検討していく予定です。